

全国学力・学習状況調査の結果について

貝塚市立西小学校 校長 中村 彰男

晩秋の候、朝夕冷え込む季節になりました。平素は本校教育活動にご理解・協力をいただきありがとうございます。

本年度も、6年生を対象として「平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査」を実施し、9月下旬に個人ごとの結果をお返ししました。

この調査は小学校の最終学年のみを対象とした調査です。今年度は、国語・算数の2教科について行われました。また、今年度よりA Bの問題区分はなくなり、1時間の調査問題の中に「基礎的なこと」と「思考力を問う問題」とが含まれるような形式に変更されました。測定されたものは学力の部分的なものであり、学校における教育活動の一側面に過ぎませんが、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

学校では、本校の児童の学力実態を絶対評価（子どもたちが得意・不得意な領域や問題）と相対的評価（国・府の平均との比較）の両面からとらえて児童の学力実態の分析を試み、対象となった6年生をはじめ子どもたちに、よりきめ細やかな指導ができるよう取組みを進め、それぞれの学年の実態や課題に応じた学力向上につながる具体的な指導法の工夫改善を図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にさせていただきますようお願いいたします。

教科に関する調査の分析（「全国値」「府値」は全国と府の平均正答率を意味します。）

【国語】《概要》

◎国語科における現状と課題

- ・全体の正答率は府値と同じで、全国値より少し下位にある。
- ・「言語についての知識・理解・技能」については、府値を上回っている。それ以外の「国語への関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」はいずれも府値及び全国値よりも下位にある。
- ・特に、「話す・聞く能力」は府値及び全国値より下位にあるので、「話すこと・聞くこと」を意識して学習に取り入れるだけでなく、明確な目的意識を持って取り入れていく必要がある。
- ・知識理解の中の「漢字」においては、3問中2問については5ポイント以上高く、比較的高水準だといえる。
- ・引用について課題がある。そして、質問に対して正確に答えていない場合があり、理由は書けるが、根拠を示すことに苦手意識がある児童がいる。

☆国語科における成果と今後の改善点について

- つける力を明確にした単元計画づくりに取り組む。
- 根拠やその理由を問うような発問を意識的に取り入れる。普段の学習の中で「なぜそう考えたのか？」「そう考えたのはどこの部分が根拠になっているのか？」など、子どもに聞いていくことで、普段から意識して読み取れるようになる。
- また、接続詞や構成などに着目した読み方を意識して指導していく必要がある。特に、単元全体の中での内容・構造の把握を基にして、精査したり解釈したりすることで、根拠を持った対話をしていく必要がある。
- 言葉を大切にしながら、学習の中でも生活の中でも意識できるように指導していく。
- 正しい日本語を国語科だけではなく、他の教科でも意識させることで、普段から自然と使えるようにする。

【算数】《概要》

◎算数科における現状と課題

- ・全体の正答率は府値および全国値より少し下位にある。
- ・全体として、基礎的な問題を解く力は向上していて、ほとんどの問題で府値を上回っていた。
- ・「数量や図形についての技能」については、府値及び全国値より上位にあるが、「数学的な考え方」「数量や図形についての知識・理解」については課題がある。
- ・領域別に見ると、「図形」領域は府値より上位にある。
- ・「数と計算」「数量関係」「量と測定」領域については、課題があると考えられる。

☆算数科における成果と今後の改善点について

- 全国学力・学習状況調査の過去問題の練習や市の「力だめしテスト」などで、テストの形式に慣れることができたため、自分の考えをかけている児童がいた。今までの取り組みの成果であるので、継続して取り組んでいく。
- 以前から全学年で行っている「昼学」や今年度から高学年でも行うようにした「放課後学習」の時間を活用し、来年度以降も全ての学年で基礎学力の向上に努めていきたい。
- 無答率が多くの問題で、全国値・府値より高かった。問題が与えられた時に、あきらめずに分かるところまで必ず書くように、日頃から指導したり、励ましたりしているが、どう書けばいいのかも含めて今後指導していく。
- 記述式の問題では、「まず～、次に～」のように順序だてて説明することに課題がある児童や、例を真似て書くことができない児童がいた。普段の学習で、ノートに自分の考えを端的に書かせることを意識的に取り入れていこうと考えている。
- 出題の仕方が変わると答えられない場合があるようなので、様々な問い方をする問題に触れさせたい。